

# GSJ 地質ニュース

GSJ CHISHITSU NEWS

— 地球をよく知り、地球と共生する —

2016

12

Vol. 5 No.12



# 12月号

口絵 371-373

## 平成28年(2016年)鳥取県の中部に発生した地震に関する情報

「第一報」 地質調査総合センター

「第二報」2016年10月26~27日の現地調査概要報告

吾妻 崇・丸山 正

374-376

全く新しい生物的メタン生成反応とコールベッドメタン

眞弓大介

377-381

地質標本館来館者アンケート結果概報(2015年度)

森尻理恵ほか

382-388

地質科学情報コンソーシアム  
Geoscience Information Consortium 2016 参加報告

岩男弘毅

389-398

2016年産総研一般公開サイエンスコーナー  
「アナログ模型で地質を学ぼう！」

小松原純子ほか

399-401

2016年産総研一般公開チャレンジコーナー  
「地面の動くようすを目の前で！」

武田直人ほか

402 新刊紹介「オーストラリアの荒野によみがえる原始生命」

ニュースレター

405 女子大学院生・ポスドクと産総研女性研究者との懇談会  
開催報告

## Cover Page



Aerial view of Cape Nosappu at the point of Nemuro Peninsular, eastern Hokkaido using an UAV.

(Photograph and caption by Hiroaki TAKEDA, Shigeto INOKUMA and Futoshi NANAYAMA)

## UAVによって撮影された根室半島先端の納沙布岬

根室半島は根室層群ノッカマップ層と呼ばれる道東地域では最も古い白亜紀末期の地層からなり、枕状溶岩や貫入岩を頻繁に伴うことから、火山に隣接した浅海域の堆積物と考えられている。納沙布岬の灯台付近にはアルカリドレライト質マグマの層状分化岩床が併入し、ここでは多彩な岩石や鉱物が観察できる。現在根室半島は1cm/年の速度で急激に沈降しているが、その一方で中期更新世以降に生じた3面の明瞭な海成段丘が認められ、将来のこの地への巨大地震の襲来を暗示している。写真は無人航空機(UAV:通称ドローン)により撮影。

(写真・文: 竹田浩章・猪熊樹人<sup>1</sup>, 七山 太<sup>2/1</sup> 根室市, <sup>2</sup>産総研 地質調査総合センター 地質情報研究部門)